

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 静岡市立長田南小学校

① 学習指導案 学校指定様式可

プログラム	No. 9 「わたしたちのみち」
単元名 (全25時間)	「わたしたちのまち」を 夢いっぱいにするために
学習のねらい	交通安全リーダーとして学区の通学路を探索しながら、今までの登下校の様子を振り返り、地域の風景と自分の成長や思い出とのつながりに気づき、さらに地域に愛着を持つと共に、これからも地域を大切にしていこうとする気持ちを育てる。
学習内容	1 学習用端末を持参して学区を探索しながら、自分たちの学区（地域・自然・景観）のよさを改めて確認し合う。 2 自分たちの通学路で思い出に残ることを出し合い、友達や家族、地域の人たちとのやりとりを思い出すと共に、自身の成長を支えてきてくれたことに気付く。 3 地域の景観や安全を守るために必要なことを調査し、下学年に呼びかける点や自分たちができることを考える。 4 調査してまとめたことを地域の方々、下級生、他地域の方等にオンラインで発表し、意見交換をすることを通して、新たな視点から自分たちの地域のよさを自覚する。 5 一番お気に入りの風景写真を記録すると共に、それにまつわる思い出を書き記す作業を通して、自分自身の気持ちを記録する方法を考え表現する。 6 卒業アルバムに自分の発表を記録として残す。
参考資料 準備品 実施場所等	入学時の写真、地域の方々の話等 プロジェクター、大型モニター、学習用端末等 地域（通学路）、各教室、本校体育館

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
4 時 間	- 通学路ごとの小グループを作成し、学習用端末を持参して学区を探索しながら、自分たちの学区（地域・自然・景観）のよさを改めて確認し合う。 - 思い出に残る景観を個人で写真に記録する。	- 乃木坂46のミュージックビデオを視聴し、自分たちの景観が使用されていることに気付かせ、意欲を高める。 - 能登半島地震や地震災害で景観が失われることもあることに気付かせ、改めて地域の良さに興味を持たせる。	活動への取組（発言・観察）
4 時	調査グループごとに自分たちの通学路で思い出に残ることを出	- 通学路ごとのグループで活動する。 - 教師が巡回すると共に、Wi-Fiルータ	課題追求能力（写真・スライド等の記録）

間	し合い、友達や家族、地域の人たちとのやりとりを思い出すと共に、自身の成長を支えてきてくれたことに気付く。 ・必要であれば、インタビュー調査やアンケート調査を行う。	ーを持参し、学区内でアクセスできるようにし、インターネット上のすぐに関情報を入手できるようにする。 ・調査中に学習端末を使用し、Googleドキュメントやスライド、フォームなどに記録させる。	コミュニケーション能力 (発言・記録) 資料分析力(記録)
2 時 間	・地域の景観や安全を守るために必要なことを調査し、下学年に呼びかける点や自分たちができることをグループごとに話し合いながら考える。	・撮影した写真や集めた資料をもとに、自分の言葉でまとめるように伝える。 ・実現可能であり、継続できる取組を考えさせる。また、自分たちが率先して取り組むことを伝える。	表現力(スライド)
8 時 間	・調査したことを、グループごとにスライドを作成してまとめる。 ・まとめたことを家族、地域の方々、下級生、他地域の方等に対面、もしくはオンラインで発表し、意見交換をすることを通して、新たな視点から自分たちの地域のよさを自覚する。	・伝える相手を意識しながら、情報を整理し表現することを伝える。 ・司会進行等の役割分担は、子どもたち自身に考えさせ、自分たちで発表会を運営させる。	表現力(発表)
4 時 間	・記録していた一番気に入りの風景写真と共に、それにまつわる思い出を書き記す。 ・作業を通して、自分自身の気持ちを記録する方法を考え表現する。	・参加者の意見をフィードバックし、卒業アルバムに残すための自分の発表に活かすことを伝える。	表現力(作品・発言)
3 時 間	・卒業アルバムの個人文集ページに自分の発表を記録として残す	・最終確認の際に、互いに見合いながら推敲し、よりよいものを作るように促す。	思考力・判断力(作品)

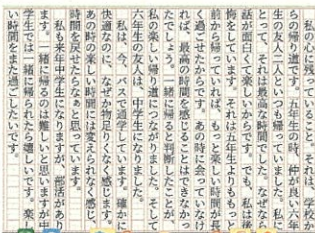
<留意点>

- ・自分たちのまちへの愛着を高め、「夢いっぱいのもち」を自分事として捉えられるようにする。
- ・それぞれの思いを尊重し合い、多面的・多角的な意見を採り上げる。
- ・調査時の安全に留意する。特に、写真撮影や学習用端末を使用する際に、地域の方々の交通の妨げにならないようにすると共に、自分自身の身の安全も留意するようにする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 静岡市立長田南小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
4時間	教室 学習室 学区内 (探索)	- 通学路ごとの小グループを作成し、学習用端末を持参して学区を探索しながら、自分たちの学区（地域・自然・景観）のよさを改めて確認し合う。 - 思い出に残る景観を個人で写真に記録する。		- 今まで何気なく過ごしていた学区の様子を、景観や自然について意識して見ることで、改めてよさを新たに発見することができた。 - 思っている以上に自然に囲まれていること、その自然を大切にしたいという気持ちに気付いた。
4時間	教室 学習室	- 調査グループごとに自分たちの通学路で思い出に残ることを出し合い、友達や家族、地域の人たちとのやりとりを思い出すと共に、自身の成長を支えてきてくれたことに気付く。 - 必要であれば、インタビュー調査やアンケート調査を行う。		- 季節によって景観が変わることや、地域のお祭りの場面など、思い出に残ることが様々であることに気付くと同時に、その姿がそれぞれの大切な物として心に残っている事を自覚していた。 - インタビュー調査やアンケートをしながら、丸子川、漁港、小坂の山々などの地域のよさを聞くことができ喜びを感じていた。
2時間	教室	地域の景観や安全を守るために必要なことを調査し、下学年に呼びかける点や自分たちができることをグループごとに話し合いながら考える。		景観や安全を守るためには、まずは自分たちが呼びかけようとする意識を高めていた。

8時間	教室 体育館 学習室 1 ・ 2	・ 調査したことを、グループごとにスライドを作成してまとめる。 ・ まとめたことを家族、地域の方々、下級生、他地域の方等に対面、もしくはオンラインで発表する。その後、意見交換をすることを通して、新たな視点から自分たちの地域のよさを自覚する。		・ 実際に学区に出かけて調べたことと、その他のデータを組み合わせて説得力のある発表にまとめることの難しさを感じていた。 ・ スライドの見せ方、言葉の選び方、色の使い方などを工夫することで、よりわかりやすい発表ができることを実感していた。
4時間	教室	・ 記録していた一番お気に入りの風景写真と共に、それにまつわる思い出を書き記す。 ・ 作業を通して、自分自身の気持ちを記録する方法を考え表現する。		・ 今までの登下校を思い出しながら、景色と共に感情を書き表すことができていた。 ・ 様子を表す言葉だけでなく、文末表現や書き出しの工夫などを意識しながら表現することができた。
3時間	教室	・ 卒業アルバムの個人文集ページに自分の発表を記録として残す		・ 自分なりの言葉で書き表すことができて、満足感を感じていた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 ・ 自分たちの地域が他に誇れる場所だということを意識させるために、乃木坂46が撮影に使用したことを提示し、「もっと知りたい」と思えるようにした。 ・ 景観と交通安全と二つの視点を織り交ぜることで、自分たちの登下校の道に対する意識が高まった。
(2) 実施にあたり苦労した点 ・ お気に入りの風景が季節によって変化するため、実際に学区を回ったときには子ども自身が思う風景と違うことがあったため、想像で補う部分があった。 ・ 卒業文集とのテーマに合う文章を思いつかない児童もいた。
(3) 児童の反応 ・ 「ここが好きなんだよね」「開放的な気持ちになって、いいよね」「漁港はみんなの宝だよ」といった、改めて地域のよさを実感する発言があちこちで見られた。 ・ 下学年にも伝えたい、という思いが強くあり、自分たちの思いを引き継いでいって欲しいという願いが見られた。 ・ 発表する際に、ただスライドを作るだけでなく、説明や具体的なデータをもとにした根拠の

ある発表をしようと考え、何度も構成し直すことで、表現力の高まりが見られた。

- ・地域のよさを再認識し、未来へ思いを馳せる児童が見られた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・適切な課題設定が、子どもの意欲を高めることにつながることを実感した。
- ・グループごとに何度も繰り返し構成を見直したことで、どんどんとスライドが精練されていき、表現力が高まっていくことがわかり、意識的に言葉かけをするようになった。
- ・提案性のある発表のためには、根拠をもとにすることが大事であり、そうした基礎的な力は教科の学習で身につけていく必要があると感じ、日々の授業をさらに大事にするようになった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・探索場面でもう少しデータを収集させた方がより深みのある発表につながったことが推測されたので、探索場面での課題設定をもう少し難易度をあげていきたい。
- ・一時期だけでなく、定期的に調査できた方が、より説得力のあるデータ収集ができたため、継続的な調査も必要である。
- ・写真撮影には、教員側の準備と配慮が必要である。